

お客様 各位

平成 27 年 11 月 8 日
リーディング証券株式会社

11 月 8 日 読売新聞掲載
「レセプト債 4 社が破綻、227 億円償還不能か」の記事に関して

拝啓 毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、本日 11 月 8 日の読売新聞一面に、医療機関の診療報酬請求権を基に、資産運用のための債券（レセプト債）を発行しているファンド 3 社と運用会社 1 社が破綻し、顧客への配当が止まった記事が掲載されておりました。6 日に東京地裁に破産手続きの開始を申し立てたのは、「メディカル・リレーションズ・リミテッド」、「メディカル・トレンド・リミテッド」、「オプティ・メディックス・リミテッド」のファンド 3 社と、関係する運用会社「オプティファクター」です。記事によりますと当該レセプト債は、アーツ証券など国内の 7 つの中小証券会社が延べ数千人の投資家に販売していたということです。

弊社では 2012 年 8 月より日本国内の診療報酬債権等を裏付け資産とした証券化商品、J-Mars を販売しておりますが、上記ファンド 3 社及び運用会社とは一切関係がないことをご報告いたします。弊社は、債券の発行会社である「合同会社ジェイ・マース」の事務管理会社及びアレンジャーより定期的に運用状況・残高状況の報告を受けております。また J-Mars を保有されておられるお客さまには、四半期ごとに運用報告書をお送りしておりますが、当該運用報告書の作成に当たっては第三者の公認会計士により J-Mars の銀行通帳、支払指示書等で資金の流れのチェックを受けております。

お客様におかれましてはこのような記事が掲載されましたことでご心配、ご不安になっておられるかと思いますが、改めまして弊社取扱の J-Mars（診療報酬等流動化債券）は、上記ファンド 3 社、ならび上記運用会社の金融商品とは一切関係がないことをご連絡させていただきます。

敬具